

# 2024(令和6)年度事業計画

## 目 次

- I. 日韓経済人会議
- II. 日韓新産業貿易会議
- III. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）
- IV. 会員向け広報・情報サービス活動
- V. 青少年交流ファンド

2024年3月27日

一般社団法人 日韓経済協会

## I. 第56回 日韓経済人会議

### 1. 開催の経緯

日韓経済人会議は、1969年に第1回を開催して以降、コロナ禍においてもオンラインにて実施するなど、一度も中断することなく開催を続け、いまや両国の経済人による代表的な会議となりました。両国の企業・団体のトップが一堂に会し、両国間の経済連携や協力、民間交流の維持、拡大に向けたテーマについて忌憚のない意見交換を行います。その結果は、会議の総括として「共同声明」を採択し、発信いたします。第56回を迎える本年は日本・東京で開催します。本会議のために東京に集まるのは、実に6年ぶりとなりますが、会議の成功に向けて十分な準備により臨む予定です。なお会議は、趣旨と意義に賛同いただいた一般財団法人日韓産業技術協力財団と2013年から共催しています。

### 2. 本年度の開催概要

- (1) 主催 : 日韓経済協会、日韓産業技術協力財団、韓日経済協会
- (2) 日程 : 2024年5月14日(火)～15日(水)
- (3) 会場 : 日本・東京  
ホテルオークラ東京 プレステージタワー2F オーチャード
- (4) 規模 : 約300名
- (5) テーマ : 『未来へと続く日韓のパートナーシップ』
- (6) 登壇者 : 基調講演 日本：森 健良（三菱商事(株)取締役 前外務次官）  
韓国：調整中

## II. 第 24 回 日韓新産業貿易会議

### 1. 開催の経緯

1999 年度に「産業貿易会議」が発足した後、開催目的に『問題解決に向けた提言』を加える趣旨から 2007 年に「“新” 産業貿易会議」へ改称し、現在に至ります。日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、日韓からそれぞれ 30 名程度が参加し、メディア非公開という環境のもとで自由闊達な議論をしております。

なお、経済人会議と同様に、会議開催の趣旨と意義に賛同いただいた一般財団法人日韓産業技術協力財団が 2014 年から共催に加わりました。

### 2. 本年度の開催概要

(1) 日程・場所：2025 年 3 月に韓国・ソウルで開催を予定。

(2) 主要テーマ：「第 57 回日韓経済人会議」に向けて議論します。

※日程及び議題は 2024 年度の「第 56 回日韓経済人会議」後に確定します。

## III. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）

### 1. 日韓高校生交流事業

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」について

① 次世代の望ましい日韓関係構築を目指すため、2004 年に「日韓高校生交流キャンプ」が事業化され、これまでの 20 年間で 26 回開催し、延べ 2,353 人の両国高校生が参加しました。

2023 年度は、「日韓青少年交流キャンプ—Reboot 2023」として、(コロナ禍のため) 4 年ぶりに開催を再開しました。

② 2006 年度から 2 年間は、本事業の趣旨に賛同いただいた会社・団体の協賛金・助成金により運営、2008 年度から 4 年間は、日本政府の「21 世紀東アジア青少年大交流計画事業 (JENESYS)」の一環として、(財)日韓文化交流基金からの委託事業の形態で運営しました。

2012年度は日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を基に実施、2013年度以降は日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）」が復活し、毎年の公募と審査を経て、(公財)日韓文化交流基金企画競争公募事業として、韓国産業通商資源部の支援金を併せて運営しました。なお、2015年度から日本側は参加費を徴収しています。

③ 2019年度からは(一財)日韓産業技術協力財団の賛助を受け実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度から3年間は開催を見送りました。

(2) 2024年度は、2023年度同様、従来の日韓高校生交流キャンプより参加者数・日程を縮小し、「第27回日韓高校生交流キャンプ(仮)」を、夏期に韓国で実施する予定です。

## 2. 日韓学生未来会議

(1) 日韓高校生交流キャンプを起点とした更なる交流の深化と発展のため、2006年に、キャンプ参加学生が自主的にOB・OG会(日本側:JKSFF(Japan Korea Students Future Forum)／韓国側:KJSFF(Korea Japan Students Future Forum))を発足させ、2007年から本格的に交流活動を始めました。この交流活動の年間最大行事として、両国学生が日韓に関わる一つのテーマを決め、一緒に事前研究を重ね、交流会でその成果を発表し、意見交換を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に毎年開催しています。

(2) 2023年度の「第18回 日韓学生未来会議」は、8月7日～12日の5泊6日間、日本側11人、韓国側16人が参加し、福岡で開催しました。

(3) 「第19回 日韓学生未来会議」は、8月に韓国で開催する予定で準備を進めています。

## IV. 会員向け調査・広報活動

### 1. 活動の目的

会員および関係先に対して、「これだけ読めば、最新の韓国がわかる」を目標に、韓国に関する情報を発信しています。協会事業への参加がむずかしい会員との間では、結びつきを維持・強化していく上での大切なコミュニケーションツールとなっています。

### 2. 日報・週報・月報

情報の内容や活用を念頭に、リアルタイム性の必要な政治・社会記事などを日報で、一定程度まとまった経済情報を週報で、経済分析などを通じたものは『協会報』（月報）に掲載し発信しています。現下の日韓両国において、特に政治・外交面での関係改善に向けた課題が山積する中、提供する情報の充実を図っています。

また、協会の取り組む個別事業の活動状況については、協会報とともにホームページに掲載しています。

## V. 青少年交流ファンド

将来の日韓両国の青少年交流を促進するために、2015年日韓国交正常化50周年事業として「日韓青少年交流ファンド」を提案し、設立しました。

本年度も引き続き、趣意書に基づきご理解いただいた企業、団体等への協賛金ご支援のお願いを拡充する予定です。

以上